(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2021-109167
(P2021-109167A)
(43)公開日　令和3年8月2日(2021.8.2)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
B09B	3/00	(2006.01)	B09B	3/00	ZABZ	4C058
A61L	2/07	(2006.01)	A61L	2/07		4D004
B02C	13/13	(2006.01)	B02C	13/13		4D065

審査請求 未請求　請求項の数 7　ＯＬ　（全 8 頁）

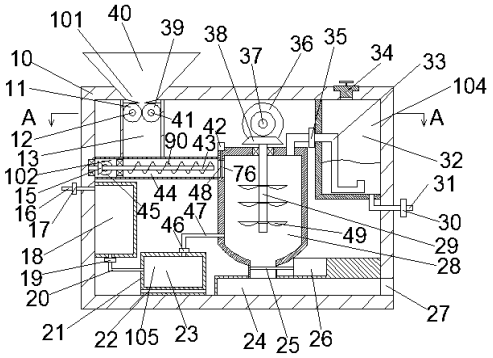
(21)出願番号　特願2020-90016(P2020-90016)
(22)出願日　令和2年5月22日(2020.5.22)
(31)優先権主張番号　202010015807.8
(32)優先日　令和2年1月7日(2020.1.7)
(33)優先権主張国・地域又は機関
中国(CN)

(71)出願人　518096939
張偉萍
中華人民共和国浙江省慈渓市匡堰鎮高家村後張▲たい▼
(74)代理人　100115303
弁理士　岩永　和久
(72)発明者　楼国樺
中華人民共和国浙江省麗水市龍泉市龍渕街道城東四路２５２号一楼

Ｆターム(参考)　4C058 AA27 BB05 CC05 EE26
4D004 AA48 AB10 CA04 CA15 CA22
CA46 CB04 CB13 CB27 CB31
CC01
4D065 AA09 BB12 EB18 ED06 ED13
ED23 ED29 EE15 EE20

(54)【発明の名称】医療廃棄物処理装置

(57)【要約】
【課題】本願発明は医療廃棄物処理装置を開示した。
【解決手段】
処理箱を含み、前記処理箱の上側壁にはホッパーが設置され、前記処理箱の中には粉砕空間が設置され、前記粉砕空間の後側には動力空間が設置され、前記粉砕空間の中には廃棄物を粉砕するための粉砕機構が設置され、前記粉砕空間の下方には廃棄物送り空間が設置され、前記廃棄物送り空間の中には粉砕された廃棄物を輸送するための廃棄物輸送機構が設置され、本願発明は高圧蒸気滅菌との方法を使用して医療廃棄物を処理し、使用手順が簡単であり、細菌やウイルスなどを徹底的に処理でき、生み出された排気ガスは処理後に無害化されるため、排出されることができ、また、焼却処理など方式により引き起こされた二次汚染を避けられ、普通の処理装置と比べ、本願発明は体積が小さく、操作が簡単で、個人診療所など小規模医療機関での使用に便利である。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
処理箱を含み、前記処理箱の上側壁にはホッパーが設置され、前記処理箱の中には粉砕空間が設置され、前記粉砕空間の後側には動力空間が設置され、前記粉砕空間の中には廃棄物を粉砕するための粉砕機構が設置され、前記粉砕空間の下方には廃棄物送り空間が設置され、前記廃棄物送り空間の中には粉砕された廃棄物を輸送するための廃棄物輸送機構が設置され、前記廃棄物送り空間の右側には処理空間が設置され、前記処理空間の上側壁には上下に延びる撹拌軸が回転可能に連結され、前記撹拌軸の上端が上方へ前記処理空間の外部に延び、かつ前記撹拌軸の上端には第一傘歯車が固定的に連結され、前記動力空間の中には前記第一傘歯車の回転を駆動するための動力機構が設置され、前記撹拌軸の下端が前記処理空間に延び、前記処理空間の中には前記撹拌軸と固定的に連結された撹拌羽根が設置され、前記処理空間の上側壁には排気ガス管が固定的に連結され、前記排気ガス管には排気ガス弁が取り付けられ、前記排気ガス管の右端には処理後に生み出された排気ガスを処理するための排気ガス処理機構が連結され、前記処理空間の左側壁には廃棄物送り込み孔が設置され、前記処理空間の上端面には第一液圧シリンダーが設置され、前記第一液圧シリンダーの下端には下方に伸びる左密封板が連結され、前記左密封板の下端が前記廃棄物送り込み孔に延び、前記処理空間の左側壁には蒸気管が固定的に設置され、前記蒸気管の左端には高圧蒸気を生成するための高圧蒸気生成機構が連結され、前記処理空間の下端と前記処理箱の中に設置された廃棄物送り出し箱とが連通し、前記廃棄物送り出し箱の右側には廃棄物送り出し孔が設置され、前記廃棄物送り出し箱の上端面には第二液圧シリンダーが固定的に設置され、前記第二液圧シリンダーの左端には下密封板が連結され、前記下密封板は前記処理空間を密封できることを特徴とする医療廃棄物処理装置。
【請求項２】
前記粉砕機構は第一軸を含み、前記第一軸が前記粉砕空間の後側壁に回転可能に連結されかつ前後方向に伸びられるように設置され、前記粉砕空間の中には前記第一軸の外面に固定的に連結された左粉砕輪が設置され、前記粉砕空間の後側壁には前後に伸びる第二軸が回転可能に連結され、前記粉砕空間の中には前記第二軸の外面に固定的に連結された右粉砕軸が設置されていることを特徴とする請求項１に記載の医療廃棄物処理装置。
【請求項３】
前記廃棄物輸送機構は前記廃棄物送り空間の左側壁に回転可能に連結された廃棄物送り軸を含み、前記廃棄物送り軸の外面には抜き孔が固定的に設置され、前記廃棄物送り軸の外面には第二傘歯車が固定的に設置され、前記廃棄物送り空間の後側壁には前後に伸びる第三軸が回転可能に連結され、前記第三軸の後端には第三傘歯車が固定的に連結され、前記第三傘歯車と前記第二傘歯車とが噛み合うことを特徴とする請求項１に記載の医療廃棄物処理装置。
【請求項４】
前記動力機構は前記動力空間の後側壁に固定的に設置されたモーターを含み、前記モーターの前端には動力軸が連結され、前記動力軸の外面には第一歯車が固定的に連結され、前記第一歯車と前記第二軸の外面に固定的に設置された第二歯車とが噛み合い、前記第二軸の後端には第三歯車が固定的に設置され、前記第三歯車と前記第一軸の後端に固定的に設置された第四歯車とが噛み合い、前記第一軸の外面にはさらに第五歯車が固定的に設置され、前記第五歯車は前記第三軸の外面にスライド可能に連結されたスプライン歯車と噛み合うことができ、前記スプライン歯車の前側には前記第三軸の外面に固定的に連結された第一電磁部品が設置され、前記スプライン歯車と前記第一電磁部品との間には第一ばねが取り付けられていることを特徴とする請求項１に記載の医療廃棄物処理装置。
【請求項５】
前記動力軸の外面には第四傘歯車が固定的に設置され、前記動力空間の後側壁には支持ブロックが固定的に設置され、前記支持ブロックには左右に伸びる第四軸が回転可能に連結され、前記第四軸の左端には第五傘歯車がスライド可能に連結され、前記第五傘歯車の右側には前記第四軸の外面に固定的に連結された第二電磁部品が設置され、前記第二電磁部

品と前記第五傘歯車との間には第二ばねが取り付けられ、前記第五傘歯車は前記第四傘歯車と噛み合うことができ、前記第四軸の右端には第六傘歯車が固定的に連結され、前記動力空間の後側壁には前方に伸びる第五軸が回転可能に連結され、前記第五軸の外面には第七傘歯車が固定的に設置され、前記第七傘歯車と前記第六傘歯車とが噛み合い、前記第五軸の前端には第八傘歯車が固定的に設置され、前記第八傘歯車と前記第一傘歯車とが噛み合うことを特徴とする請求項１に記載の医療廃棄物処理装置。

【請求項６】

前記排気ガス処理機構は排気ガス処理空間を含み、前記排気ガス処理空間の下側壁には液体交換管が設置され、前記液体交換管には液体交換弁が設置され、前記排気ガス処理空間の上側壁にはピストンが設置されていることを特徴とする請求項１に記載の医療廃棄物処理装置。

【請求項７】

前記高圧蒸気生成機構は加熱箱を含み、前記加熱箱の中には加熱空間が設置され、前記加熱箱の下側壁には加熱板が固定的に設置され、前記蒸気管が前記加熱空間の上側壁に固定的に連結され、かつ前記蒸気管が前記加熱空間と連通し、前記蒸気管には加圧ポンプが固定的に設置され、前記加熱空間の左側壁には排水管が固定的に連結され、前記排水管には制御弁が取り付けられ、前記排水管の左端には水槽が連結され、前記水槽の左側壁には給水管が固定的に設置され、前記給水管には給水弁が取り付けられていることを特徴とする請求項１に記載の医療廃棄物処理装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本願発明は医療技術分野に関し、具体的には医療廃棄物処理装置である。

【背景技術】

【０００２】

医療廃棄物の組成は複雑であるため、細菌やウイルスなどの有害生物の二次感染を防ぐために、現在は焼却処理が主な処理方式であり、しかし、医療廃棄物には有害微生物があるだけでなく、大量の重金属元素などの有害元素も含まれている可能性があり、既存の多くの医療廃棄物処理装置は、医療廃棄物を処理するために医療廃棄物を焼却し、焼却後の排気ガスと焼却灰は環境への二次汚染を引き起こし、また、焼却後の排気ガスと焼却灰に対する処理は困難であり、排気ガスと焼却灰が多くすぎると、大量の処理施設が必要となり、小規模医療機関での使用に適しない。

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００３】

【特許文献１】中国特許出願公開第１０６５４５８６１号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

本願発明は医療廃棄物処理装置を提供し、既存技術にある上記の欠点を解消することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

本願発明に記載の医療廃棄物処理装置は、処理箱を含み、前記処理箱の上側壁にはホッパーが設置され、前記処理箱の中には粉砕空間が設置され、前記粉砕空間の後側には動力空間が設置され、前記粉砕空間の中には廃棄物を粉砕するための粉砕機構が設置され、前記粉砕空間の下方には廃棄物送り空間が設置され、前記廃棄物送り空間の中には粉砕された廃棄物を輸送するための廃棄物輸送機構が設置され、前記廃棄物送り空間の右側には処理空間が設置され、前記処理空間の上側壁には上下に延びる撹拌軸が回転可能に連結され、前記撹拌軸の上端が上方へ前記処理空間の外部に延び、かつ前記撹拌軸の上端には第一傘

歯車が固定的に連結され、前記動力空間の中には前記第一傘歯車の回転を駆動するための動力機構が設置され、前記撹拌軸の下端が前記処理空間に延び、前記処理空間の中には前記撹拌軸と固定的に連結された撹拌羽根が設置され、前記処理空間の上側壁には排気ガス管が固定的に連結され、前記排気ガス管には排気ガス弁が取り付けられ、前記排気ガス管の右端には処理後に生み出された排気ガスを処理するための排気ガス処理機構が連結され、前記処理空間の左側壁には廃棄物送り込み孔が設置され、前記処理空間の上端面には第一液圧シリンダーが設置され、前記第一液圧シリンダーの下端には下方に伸びる左密封板が連結され、前記左密封板の下端が前記廃棄物送り込み孔に延び、前記処理空間の左側壁には蒸気管が固定的に設置され、前記蒸気管の左端には高圧蒸気を生成するための高圧蒸気生成機構が連結され、前記処理空間の下端と前記処理箱の中に設置された廃棄物送り出し箱とが連通し、前記廃棄物送り出し箱の右側には廃棄物送り出し孔が設置され、前記廃棄物送り出し箱の上端面には第二液圧シリンダーが固定的に設置され、前記第二液圧シリンダーの左端には下密封板が連結され、前記下密封板は前記処理空間を密封できる。

【０００６】

前記粉砕機構は第一軸を含み、前記第一軸が前記粉砕空間の後側壁に回転可能に連結されかつ前後方向に伸びられるように設置され、前記粉砕空間の中には前記第一軸の外面に固定的に連結された左粉砕輪が設置され、前記粉砕空間の後側壁には前後に伸びる第二軸が回転可能に連結され、前記粉砕空間の中には前記第二軸の外面に固定的に連結された右粉砕軸が設置されている。

【０００７】

前記廃棄物輸送機構は前記廃棄物送り空間の左側壁に回転可能に連結された廃棄物送り軸を含み、前記廃棄物送り軸の外面には抜き孔が固定的に設置され、前記廃棄物送り軸の外面には第二傘歯車が固定的に設置され、前記廃棄物送り空間の後側壁には前後に伸びる第三軸が回転可能に連結され、前記第三軸の後端には第三傘歯車が固定的に連結され、前記第三傘歯車と前記第二傘歯車とが噛み合う。

【０００８】

前記動力機構は前記動力空間の後側壁に固定的に設置されたモーターを含み、前記モーターの前端には動力軸が連結され、前記動力軸の外面には第一歯車が固定的に連結され、前記第一歯車と前記第二軸の外面に固定的に設置された第二歯車とが噛み合い、前記第二軸の後端には第三歯車が固定的に設置され、前記第三歯車と前記第一軸の後端に固定的に設置された第四歯車とが噛み合い、前記第一軸の外面にはさらに第五歯車が固定的に設置され、前記第五歯車は前記第三軸の外面にスライド可能に連結されたスプライン歯車と噛み合うことができ、前記スプライン歯車の前側には前記第三軸の外面に固定的に連結された第一電磁部品が設置され、前記スプライン歯車と前記第一電磁部品との間には第一ばねが取り付けられている。

【０００９】

前記動力軸の外面には第四傘歯車が固定的に設置され、前記動力空間の後側壁には支持ブロックが固定的に設置され、前記支持ブロックには左右に伸びる第四軸が回転可能に連結され、前記第四軸の左端には第五傘歯車がスライド可能に連結され、前記第五傘歯車の右側には前記第四軸の外面に固定的に連結された第二電磁部品が設置され、前記第二電磁部品と前記第五傘歯車との間には第二ばねが取り付けられ、前記第五傘歯車は前記第四傘歯車と噛み合うことができ、前記第四軸の右端には第六傘歯車が固定的に連結され、前記動力空間の後側壁には前方に伸びる第五軸が回転可能に連結され、前記第五軸の外面には第七傘歯車が固定的に設置され、前記第七傘歯車と前記第六傘歯車とが噛み合い、前記第五軸の前端には第八傘歯車が固定的に設置され、前記第八傘歯車と前記第一傘歯車とが噛み合う。

【００１０】

前記排気ガス処理機構は排気ガス処理空間を含み、前記排気ガス処理空間の下側壁には液体交換管が設置され、前記液体交換管には液体交換弁が設置され、前記排気ガス処理空間の上側壁にはピストンが設置されている。

【００１１】
前記高圧蒸気生成機構は加熱箱を含み、前記加熱箱の中には加熱空間が設置され、前記加熱箱の下側壁には加熱板が固定的に設置され、前記蒸気管が前記加熱空間の上側壁に固定的に連結され、かつ前記蒸気管が前記加熱空間と連通し、前記蒸気管には加圧ポンプが固定的に設置され、前記加熱空間の左側壁には排水管が固定的に連結され、前記排水管には制御弁が取り付けられ、前記排水管の左端には水槽が連結され、前記水槽の左側壁には給水管が固定的に設置され、前記給水管には給水弁が取り付けられている。
【発明の効果】
【００１２】
本願発明は高圧蒸気滅菌との方法を使用して医療廃棄物を処理し、使用手順が簡単であり、細菌やウイルスなどを徹底的に処理でき、生み出された排気ガスは処理後に無害化されるため、排出されることができ、また、焼却処理など方式により引き起こされた二次汚染を避けられ、普通の処理装置と比べ、本願発明は体積が小さく、操作が簡単で、個人診療所など小規模医療機関での使用に便利である。
【図面の簡単な説明】
【００１３】
下記に図１～３をあわせて本発明について詳しく説明し、便利に説明するために、下記の方向を以下のように規定する：図１は本願発明の正面図であり、本願に記載の各方向が、図１と同じ向きに本願発明を見た際の方向である。
【００１４】
【図１】図１は本願発明の全体構成概略図
【図２】図２は図１におけるＡ－Ａ部の構成概略図
【図３】図３は図２におけるＢ部の構成概略図
【発明を実施するための形態】
【００１５】
図１～３を参照し、本願発明に記載の医療廃棄物処理装置は、処理箱１０を含み、前記処理箱１０の上側壁にはホッパー４０が設置され、前記処理箱１０の中には粉砕空間１３が設置され、前記粉砕空間１３の後側には動力空間７５が設置され、前記粉砕空間１３の中には廃棄物を粉砕するための粉砕機構１０１が設置され、前記粉砕空間１３の下方には廃棄物送り空間４４が設置され、前記廃棄物送り空間４４の中には粉砕された廃棄物を輸送するための廃棄物輸送機構１０２が設置され、前記廃棄物送り空間４４の右側には処理空間２８が設置され、前記処理空間２８の上側壁には上下に延びる撹拌軸２９が回転可能に連結され、前記撹拌軸２９の上端が上方へ前記処理空間２８の外部に延び、かつ前記撹拌軸２９の上端には第一傘歯車３８が固定的に連結され、前記動力空間７５の中には前記第一傘歯車３８の回転を駆動するための動力機構１０３が設置され、前記撹拌軸２９の下端が前記処理空間２８に延び、前記処理空間２８の中には前記撹拌軸２９と固定的に連結された撹拌羽根４９が設置され、前記処理空間２８の上側壁には排気ガス管３３が固定的に連結され、前記排気ガス管３３には排気ガス弁３５が取り付けられ、前記排気ガス管３３の右端には処理後に生み出された排気ガスを処理するための排気ガス処理機構１０４が連結され、前記処理空間２８の左側壁には廃棄物送り込み孔７６が設置され、前記処理空間２８の上端面には第一液圧シリンダー４２が設置され、前記第一液圧シリンダー４２の下端には下方に伸びる左密封板４８が連結され、前記左密封板４８の下端が前記廃棄物送り込み孔７６に延び、前記処理空間２８の左側壁には蒸気管４７が固定的に設置され、前記蒸気管４７の左端には高圧蒸気を生成するための高圧蒸気生成機構１０５が連結され、前記処理空間２８の下端と前記処理箱１０の中に設置された廃棄物送り出し箱２４とが連通し、前記廃棄物送り出し箱２４の右側には廃棄物送り出し孔２７が設置され、前記廃棄物送り出し箱２４の上端面には第二液圧シリンダー２６が固定的に設置され、前記第二液圧シリンダー２６の左端には下密封板２５が連結され、前記下密封板２５は前記処理空間２８を密封できる。
【００１６】

前記粉砕機構１０１は第一軸１２を含み、前記第一軸１２が前記粉砕空間１３の後側壁に回転可能に連結されかつ前後方向に伸びられるように設置され、前記粉砕空間１３の中には前記第一軸１２の外面に固定的に連結された左粉砕輪１１が設置され、前記粉砕空間１３の後側壁には前後に伸びる第二軸４１が回転可能に連結され、前記粉砕空間１３の中には前記第二軸４１の外面に固定的に連結された右粉砕軸３９が設置され、
廃棄物を送り込むとき、前記左粉砕輪１１と前記右粉砕軸３９は廃棄物を粉砕し、粉砕後の廃棄物は前記粉砕空間１３に一時的に貯蔵される。

【００１７】

前記廃棄物輸送機構１０２は前記廃棄物送り空間４４の左側壁に回転可能に連結された廃棄物送り軸４３を含み、前記廃棄物送り軸４３の外面には抜き孔９０が固定的に設置され、前記廃棄物送り軸４３の外面には第二傘歯車１５が固定的に設置され、前記廃棄物送り空間４４の後側壁には前後に伸びる第三軸６１が回転可能に連結され、前記第三軸６１の後端には第三傘歯車４５が固定的に連結され、前記第三傘歯車４５と前記第二傘歯車１５とが噛み合い、廃棄物を送るには、前記第三軸６１が前記第三傘歯車４５を回転させ、前記第三傘歯車４５が前記第二傘歯車１５を回転させ、前記第二傘歯車１５が前記廃棄物送り軸４３を回転させ、前記廃棄物送り軸４３が前記抜き孔９０を回転させ、前記抜き孔９０が粉砕後の廃棄物を前記処理空間２８に送り込む。

【００１８】

前記動力機構１０３は前記動力空間７５の後側壁に固定的に設置されたモーター７２を含み、前記モーター７２の前端には動力軸６７が連結され、前記動力軸６７の外面には第一歯車６８が固定的に連結され、前記第一歯車６８と前記第二軸４１の外面に固定的に設置された第二歯車６６とが噛み合い、前記第二軸４１の後端には第三歯車７３が固定的に設置され、前記第三歯車７３と前記第一軸１２の後端に固定的に設置された第四歯車７４とが噛み合い、前記第一軸１２の外面にはさらに第五歯車６５が固定的に設置され、前記第五歯車６５は前記第三軸６１の外面にスライド可能に連結されたスプライン歯車６２と噛み合うことができ、前記スプライン歯車６２の前側には前記第三軸６１の外面に固定的に連結された第一電磁部品６４が設置され、前記スプライン歯車６２と前記第一電磁部品６４との間には第一ばね６３が取り付けられ、
前記モーター７２が作動すると、前記動力軸６７が駆動されて回転し、前記動力軸６７が前記第一歯車６８を回転させ、前記第一歯車６８が前記第二歯車６６を回転させ、前記第二歯車６６が前記第三歯車７３を回転させ、前記第三歯車７３が前記第四歯車７４を回転させ、前記第四歯車７４が前記第一軸１２を回転させ、前記第一軸１２が前記第五歯車６５を回転させ、前記第五歯車６５が前記スプライン歯車６２を回転させ、以上により前記粉砕機構１０１と前記廃棄物輸送機構１０２に動力を提供する。

【００１９】

前記動力軸６７の外面には第四傘歯車６９が固定的に設置され、前記動力空間７５の後側壁には支持ブロック５６が固定的に設置され、前記支持ブロック５６には左右に伸びる第四軸５８が回転可能に連結され、前記第四軸５８の左端には第五傘歯車７１がスライド可能に連結され、前記第五傘歯車７１の右側には前記第四軸５８の外面に固定的に連結された第二電磁部品５７が設置され、前記第二電磁部品５７と前記第五傘歯車７１との間には第二ばね５９が取り付けられ、前記第五傘歯車７１は前記第四傘歯車６９と噛み合うことができ、前記第四軸５８の右端には第六傘歯車５５が固定的に連結され、前記動力空間７５の後側壁には前方に伸びる第五軸３７が回転可能に連結され、前記第五軸３７の外面には第七傘歯車５４が固定的に設置され、前記第七傘歯車５４と前記第六傘歯車５５とが噛み合い、前記第五軸３７の前端には第八傘歯車３６が固定的に設置され、前記第八傘歯車３６と前記第一傘歯車３８とが噛み合い、
前記モーター７２が作動すると、前記動力軸６７が駆動されて回転し、前記動力軸６７が前記第四傘歯車６９を回転させ、前記第四傘歯車６９が前記第五傘歯車７１を回転させ、前記第五傘歯車７１が前記第四軸５８を回転させ、前記第四軸５８が前記第六傘歯車５５を回転させ、前記第六傘歯車５５が前記第七傘歯車５４を回転させ、前記第七傘歯車５４

が前記第五軸３７を回転させ、前記第五軸３７が前記第八傘歯車３６を回転させ、前記第八傘歯車３６が前記第一傘歯車３８を回転させ、前記第一傘歯車３８が前記撹拌軸２９を回転させる。

【００２０】

前記排気ガス処理機構１０４は排気ガス処理空間３２を含み、前記排気ガス処理空間３２の下側壁には液体交換管３１が設置され、前記液体交換管３１には液体交換弁３０が設置され、前記排気ガス処理空間３２の上側壁にはピストン３４が設置され、

前記排気ガス処理空間３２の中には排気ガス処理剤があり、排気ガスを排気ガス処理剤がある前記排気ガス処理空間３２に通すことで、排気ガスを処理する。

【００２１】

前記高圧蒸気生成機構１０５は加熱箱２１を含み、前記加熱箱２１の中には加熱空間２３が設置され、前記加熱箱２１の下側壁には加熱板２２が固定的に設置され、前記蒸気管４７が前記加熱空間２３の上側壁に固定的に連結され、かつ前記蒸気管４７が前記加熱空間２３と連通し、前記蒸気管４７には加圧ポンプ４６が固定的に設置され、前記加熱空間２３の左側壁には排水管２０が固定的に連結され、前記排水管２０には制御弁１９が取り付けられ、前記排水管２０の左端には水槽１８が連結され、前記水槽１８の左側壁には給水管１６が固定的に設置され、前記給水管１６には給水弁１７が取り付けられ、

高圧蒸気を生み出すには、前記制御弁１９が開けられ、水は前記水槽１８から前記加熱空間２３に入り、前記加熱板２２により加熱され、生み出された気体は前記加圧ポンプ４６により加圧処理された後に前記蒸気管４７を介して前記処理空間２８に入る。

【００２２】

初期状態では、前記第一ばね６３と前記第二ばね５９は自然状態にあり、前記排気ガス弁３５、前記給水弁１７、前記制御弁１９、及び前記液体交換弁３０は全部閉められた状態にあり、前記第一電磁部品６４と前記第二電磁部品５７は停電した状態にある。

【００２３】

廃棄物を送るには、前記モーター７２が作動することにより前記左粉砕輪１１と前記右粉砕軸３９が回転して廃棄物を粉砕し、粉砕された廃棄物が一定の量に達した後、前記第一電磁部品６４に通電することにより前記スプライン歯車６２と前記第五歯車６５とが噛み合い、前記廃棄物送り軸４３が回転することにより前記抜き孔９０が回転し、さらに粉砕後の廃棄物を前記処理空間２８に送る。

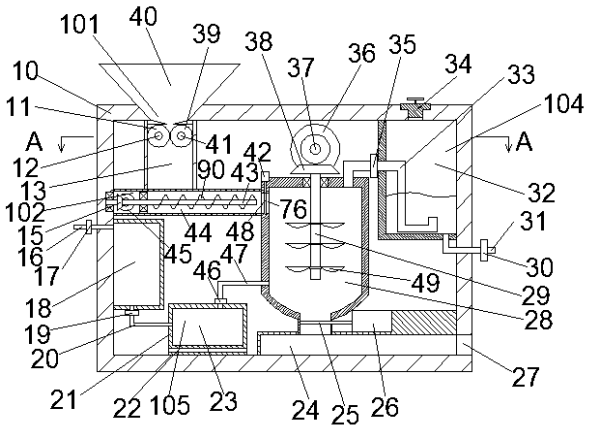
【００２４】

廃棄物を処理するには、高圧蒸気は前記蒸気管４７を介して前記処理空間２８に入り、前記第二電磁部品５７に通電し、前記モーター７２が前記撹拌軸２９を回転させ、前記撹拌軸２９が前記撹拌羽根４９を駆動して撹拌を行い、前記排気ガス弁３５が開けられ、処理中に生み出された排気ガスは前記排気ガス処理空間３２に入り、処理完了後、前記第二液圧シリンダー２６が作動することにより前記下密封板２５が左方に移動し、処理後の残渣は前記廃棄物送り出し箱２４に入り、前記廃棄物送り出し孔２７を介して排出される。

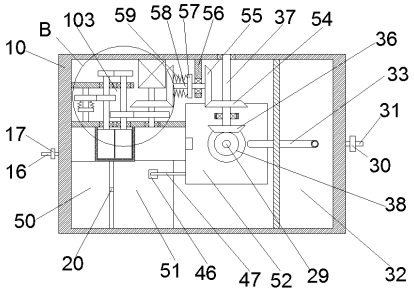
【００２５】

上記は、ただ発明の好適な実施方式であり、発明の保護範囲はこれに限定されたものではなく、創造的な労働を通さなく想到できる全ての変化又は入れ替わりは、本願発明の保護範囲の中に含む。したがって、発明の保護範囲は特許請求に限定された保護範囲を基準とするべきである。

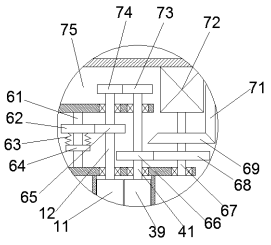
【図１】


101
40
39
38
37
36
35
34
33
104
10
11
A
12
13
102
15
16
17
18
19
20
21
22
105
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
41
42
90
43
76
44
48
45
47
46
49
A

【図２】


B
103
59
58
57
56
55
37
54
10
36
33
31
17
16
30
50
38
20
51
46
47
52
29
32

【図３】


74
73
72
75
71
61
62
63
64
69
68
65
12
11
39
41
66
67